

中長期経営戦略

— 中期経営計画 —

めざす姿の実現に向けて2030ビジョンで掲げた3つの視点に注力した取り組みを進めています。2021年度から開始した中期経営計画では、「持続的成長を実現する体質への転換」をテーマとし、「利益体質の強化と新たな食生活創造」「社会・地球環境への取り組みを強化」「多様な人材が活躍できる仕組みづくり」の3つの方針に基づいて、事業活動を進めています。

○ グループ経営方針

めざす姿
2030ビジョン

2021-2024年度 中期経営計画テーマ 持続的成長を実現する体質への転換

利益体質の強化と新たな食生活創造

海外を成長ドライバーとし、国内は市場担当制の導入でお客様のニーズに対応する

重点領域	海外エリア	重点指標
サラダ(調味料を含む)とタマゴ	中国、東南アジアを中核に北米を強化する	ROE* 8%以上 営業利益率 7.5% 海外売上高伸長率 年率10%以上

社会・地球環境への取り組みを強化

重点的な取り組み

- 健康寿命延伸への貢献と子どもの心と体の健康支援
- 資源の有効活用と循環型経済の実現
- 気候変動への対応

多様な人材が活躍できる仕組みづくり

重点的な取り組み

- グループ人材の流動化を促進
- 部門外の取り組みへの参画機会の拡大
- 学びの場を拡充

○ 2021-2024年度 中期経営計画3年目の進捗

「利益体質の強化と新たな食生活創造」では、ROE・営業利益率・海外売上高伸長率の3つを重点指標としています。ROEと営業利益率については、現在の中期経営計画がスタートした2021年度以降、想定を超えるコスト高や高病原性鳥インフルエンザの感染拡大の影響などを受け、前年を下回る結果となりました。一方で、海外売上高伸長率は、中国・東南アジア・北米を中心に順調に推移しており、年率10%以上をめざす計画に対して順調に進捗しています。2024年度は海外成長に加え、生産現場でのコスト低減や販管費を含めたコストコントロールなど、国内収益性向上の取り組みを行い、利益体質の強化を進めていきます。



山本 信一郎

キュービー株式会社
取締役 上席執行役員
コーポレート担当 兼
経営推進本部長

「社会・地球環境への取り組みを強化」では、サステナビリティは「コスト」ではなく「大切な未来投資」という位置づけで取り組んできました。グループで設定したサステナビリティ目標については、現中期経営計画終了時点での目標値を1年前倒しで達成できたテーマが複数出てきています。今後もこの考え方の下、一層の力強さをもって進めていきます。

「多様な人材が活躍できる仕組みづくり」では、活発な対話やキャリア支援、多様なスキルを活かす機会の提供などを中心とした人的資本への投資を行い、従業員が挑戦できる仕組みや環境づくりの取り組みを推進していきます。

先行き不透明な環境下ですが、引き続き持続的成長を実現する体質への転換を進め、世界の食と健康に貢献するグループをめざします。

※ROE：自己資本利益率